

京都大学防災研究所 広報出版企画室よりお知らせします。

＼宇治会場 & オンライン 土曜日開催／

公開講座

地震・火山災害に備える 近畿圏の場合も含めて

2023年9月9日(土)10:00～16:30

宇治会場(京都大学宇治キャンパスきはだホール)

オンライン(Zoom ミーティング)

<https://www.dpri.kyoto-u.ac.jp/news/18966/>

なぜ日本には地震・火山災害が多いのでしょうか？ その謎の背景から、地震・火山災害とその対策まで、2018年大阪府北部の地震や南海トラフによる大阪湾の津波など近畿圏の場合にも言及しながらお話しします。

★詳細・申込みはこちらから→ <https://www.dpri.kyoto-u.ac.jp/news/18966/>

日時:2023年9月9日(土)10:00～16:30

受講形式:会場(京都大学宇治キャンパスきはだホール)／オンライン(Zoom ミーティング)事前登録が必要です

受講料:無料

定員:会場 280名／オンライン 300名(いずれも先着順)

対象:一般・実務者・大学生・高校生

備考:本講座は土木学会認定 CPD プログラムです

詳細・申込み: <https://www.dpri.kyoto-u.ac.jp/news/18966/>

【プログラム】

10:00～10:10

開会の挨拶 所長 中北英一

10:10～11:00

日本列島とプレートテクトニクス 教授 深畑幸俊

日本列島では非常に活発な地震・火山活動が生じています。他のプレート沈み込み

帯と比べても特異で多様な活動がなぜ生じているのか、プレートテクトニクスを単純に適用しただけでは解けないその謎に迫ります。

11:00～11:50

地震被害は想定通りとなっているのだろうか？

—2018年大阪府北部の地震を例に— 教授 後藤浩之

災害の軽減を目的として様々な被害想定がなされていますが、地震被害は想定通りとなっているのでしょうか？ 2018年に発生した大阪府北部の地震の被害状況を概観した上で、被害想定のかえ方、そして想定外に対する考え方について紹介します。

13:00～13:50

火山災害 ー大規模噴火の影響はどこまで及ぶ？ー 准教授 爲栗健

火山災害は地震や豪雨と比べると頻度はさほど高くないですが、ひとたび噴火が発生すると火山周辺で大きな被害を生じます。大規模な噴火になると火山周辺のみならず日本中に影響を及ぼした例もあります。桜島や富士山などで大規模噴火が発生した時にどのような影響が生じるか紹介します。

13:50～14:40

津波の一般的性質と南海トラフ地震を想定した津波シミュレーション 助教 宮下卓也

大きな災害をもたらす津波は、風波などの日常的に見られる波とは異なる性質を持つことが知られています。その違いについて少し詳しく説明するとともに、南海トラフ沿いでの地震を想定した津波シミュレーションについて紹介します。

14:45～15:35

災害に備える ーリスク管理と危機管理ー 教授 多々納裕一

地震や津波、火山噴火が起きてもそのまま災害とはなりません。人々とその暮らしを守る備えがあれば災害を防ぐことができます。リスク管理や危機管理の考え方を通じて、被害を受けにくく回復力を高めるための原則についてお話しします。

15:45～16:25

質疑(質問は会場受講者からのみに限定) 教授 矢守克也(司会)、講演者一同

16:25～16:30

閉会の挨拶 副所長 渦岡良介

★詳細・申込みはこちらから→ <https://www.dpri.kyoto-u.ac.jp/news/18966/>